

IPカメラ設定手順
操作手順書⑤
AI機能・イベント設定
(1.00版)

2026 年 09 月 15 日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

(1.00 版)

Copyright © 2026 WDJ Hi-Tech Inc. All Rights Reserved.

文書番号: WDJ-Tec-MAN-041



— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2026/09/15	新規			新規作成

1. 本手順書について	3
2. IP カメラの接続とログイン	3
3. イベント	4
3.1. イベント設定画面	4
3.2. ビデオ検出	5
3.3. AI 動体検知	7
3.4. スマートプラン	8
3.5. AI 境界検知	9
3.6. 異常処理	12
4. 備考	14
4.1. スケジュールの設定	14

1. 本手順書について

- ・ 本手順書は WG-NB201-V（以下、カメラ）を基準で記載しています。ご使用の機器によっては異なる画面や文言になる場合があります。
- ・ 本手順書は Microsoft Edge を用いています。ご使用のブラウザによっては本手順書と異なる場合があります。
- ・ 本手順書は WEB ブラウザを使っの基本的によく使う設定に絞って説明を行います

2. IP カメラの接続とログイン

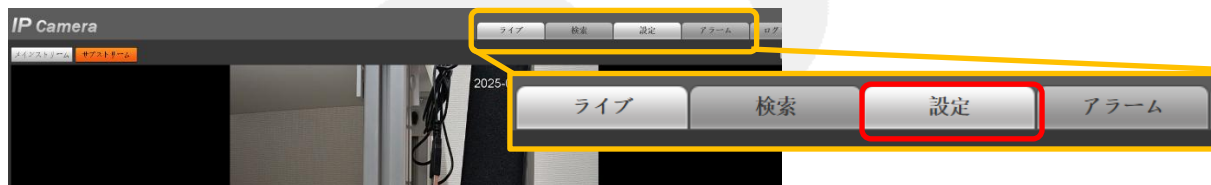
「IP カメラ用 操作手順書①（初期設定・ログイン・ログアウト）_v1.00」の手順書の記載方法でカメラと接続しログインします。

3. イベント

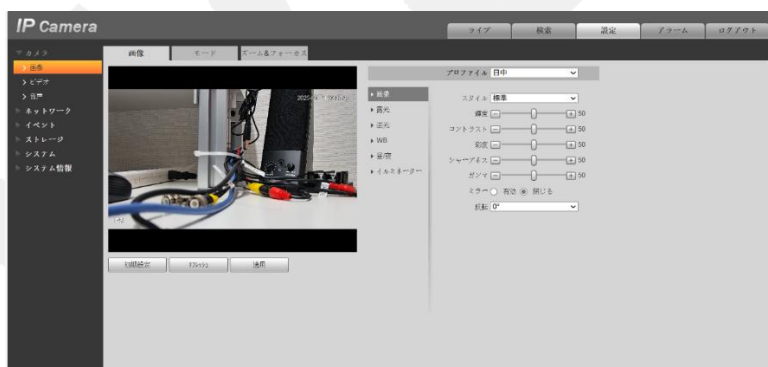
3.1. イベント設定画面

ログイン後ライブ画面が表示されます。

- 1) 画面上部の「設定」をクリックします。



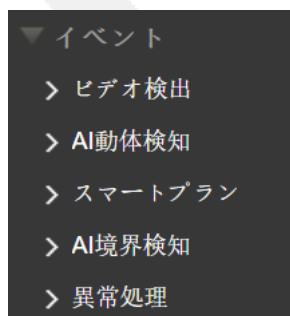
- 2) 設定画面が表示されます。



- 3) 画面左部のリストから「イベント」をクリックします。



- 4) イベント設定のリストが表示されます

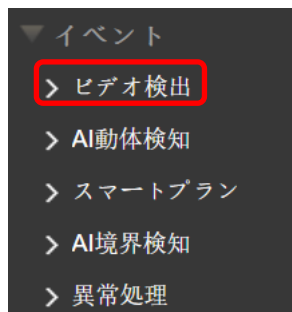


3.2. ビデオ検出

ここでは、動体検知の設定について記載します。

3.2.1. 動体検知

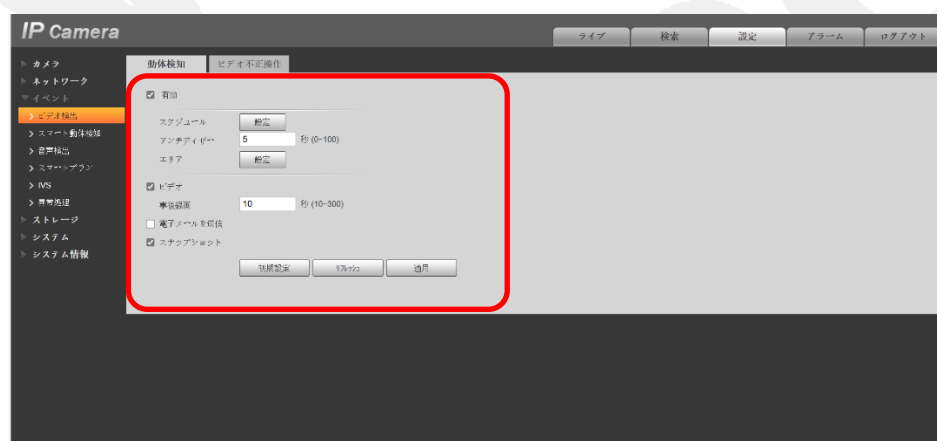
- 1) 左にあるリストから「ビデオ検出」をクリックします。



- 2) ビデオ検出設定画面が表示されるので、上部にある「動体検知」をクリックします。



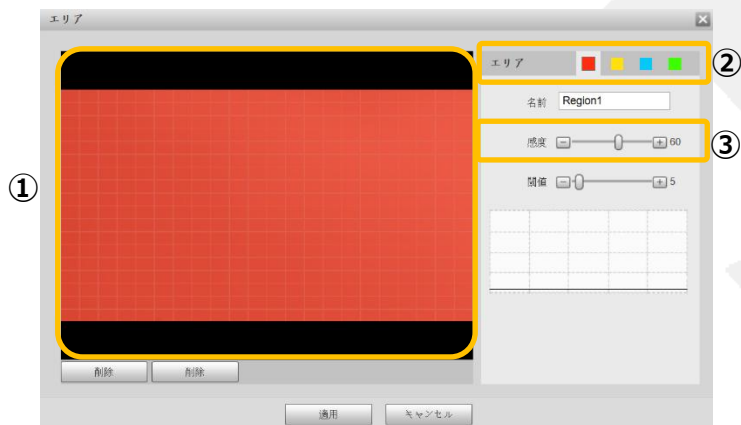
- 3) 動体検知の設定画面が表示されるので、動体検知の設定を行います。



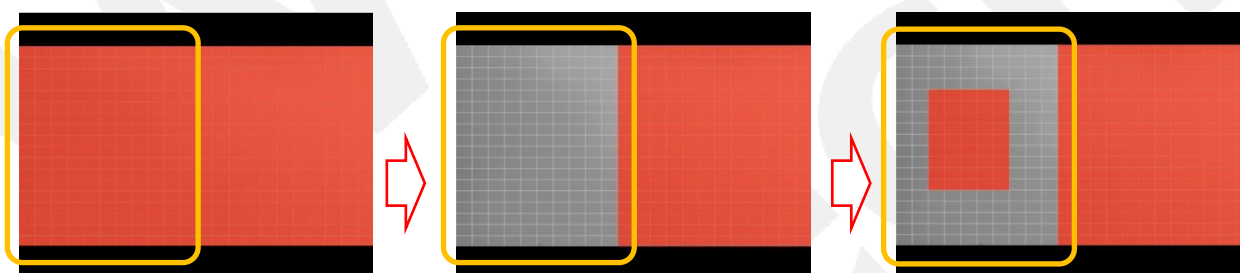
項目	内容
有効	アラーム入力の有効/無効の設定を行います。
スケジュール	アラーム入力の動作期間をリストから選択します。デフォルトは“Full Time”のみですが、「設定」をクリックして、新しくスケジュールを作成することができます。 ※「4.1 スケジュールの設定」を参照して下さい。
アンチディザ	イベントの終了後の録画の遅延時間を設定します。
エリア	「設定」をクリックすると、動体検知を行うエリアの設定ができます。
ビデオ	イベントが発生した際に映像録画を行うチャンネルを設定します。 ※[録画]-「スケジュール」にてアラームのスケジュールを設定している必要があります。
電子メールを送信	イベントが発生した際に電子メールに設定された宛先にメールを送信します。
スナップショット	イベントが発生した際に静止画保存するチャンネルを設定します。 ※[画像]-[スケジュール]にてイベントのスケジュールを設定している必要があります。

[エリア設定]

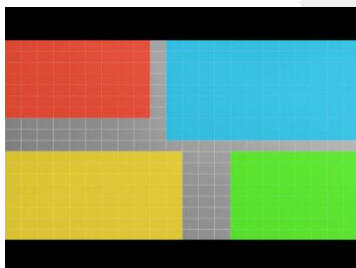
「設定」をクリックすると以下の画面が表示されます。



- ① エリア内でクリックしながら移動させると、色が消え、無効範囲になり、再度クリックしながら移動させると有効範囲になります。

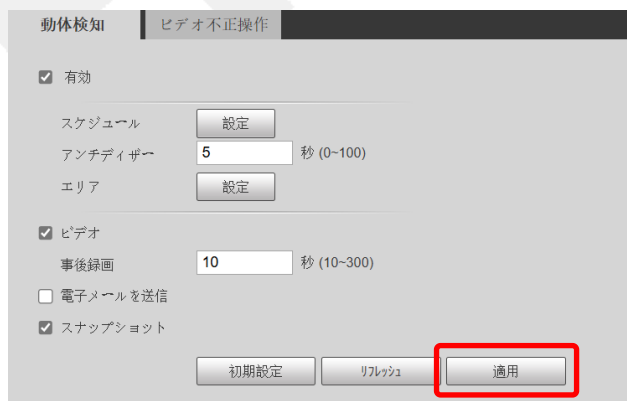


- ② エリア項目にある4色で塗られている場所が有効領域です。色ごとに検知エリアを設定できます。



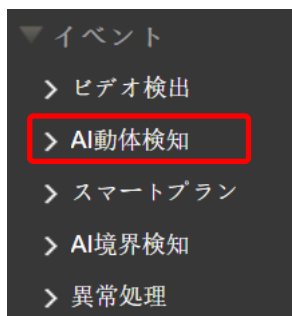
- ③ 「感度」: 動体検知の感度を設定します。数値が高くなるほど感度は上がります。

- 4) 設定が終了したら、画面下にある「適用」をクリックします。



3.3. AI 動体検知

- 1) 左にあるリストから「AI 動体検知」をクリックします。



- 2) AI 動体検知の設定画面が表示されるので、有効にチェックを入れます。

The 'AI 動体検知' settings screen. The '有効' (Enabled) checkbox is checked and highlighted with a red box. Below it, '有効ターゲット' (Effective Targets) has checkboxes for '人物' (Person) and '車両' (Vehicle), both of which are checked. A '感度' (Sensitivity) dropdown menu is set to '中' (Medium). At the bottom are buttons for '初期設定' (Initial Settings), 'リフレッシュ' (Refresh), and '適用' (Apply).

- 3) 有効ターゲットにて検出する対象にチェックを入れます。

The 'AI 動体検知' settings screen. The '有効ターゲット' (Effective Targets) section, which includes the '人物' (Person) and '車両' (Vehicle) checkboxes, is highlighted with a red box. The '有効' (Enabled) checkbox is also checked. The '感度' (Sensitivity) dropdown is set to '中' (Medium). Buttons for '初期設定', 'リフレッシュ', and '適用' are at the bottom.

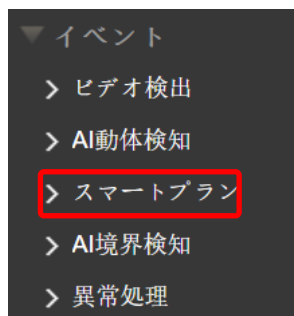
ターゲット	内容
人物	二足歩行の人間のシルエットを検知します。 ※帽子やマスクを着用していても検知します。
車両	自動車（普通車・トラック）、バイク、自転車を二輪四輪問わず検知します。

- 4) 設定が終了したら「適用」をクリックします。

The 'AI 動体検知' settings screen. The '適用' (Apply) button at the bottom right is highlighted with a red box. All other settings, including the '有効' (Enabled) checkbox and the '有効ターゲット' (Effective Targets) checkboxes, remain as shown in the previous steps.

3.4. スマートプラン

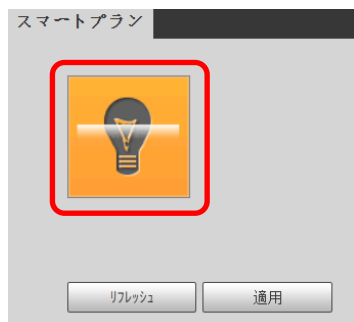
- 1) 左にあるリストから「スマートプラン」をクリックします。



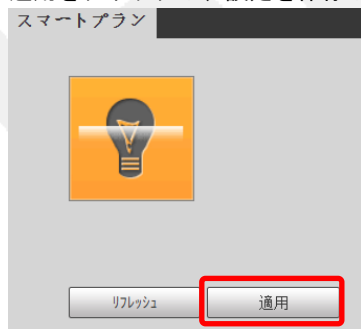
- 2) スマートプラン設定画面が表示されます。



- 3)  をクリックし、AI 境界検知を有効にします。
※クリックし有効にすると黄色になります。



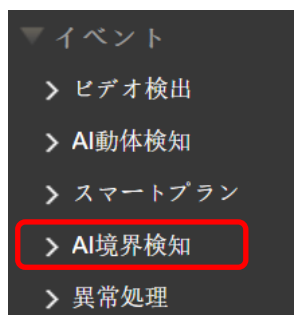
- 4) 適用をクリックし、設定を保存します。



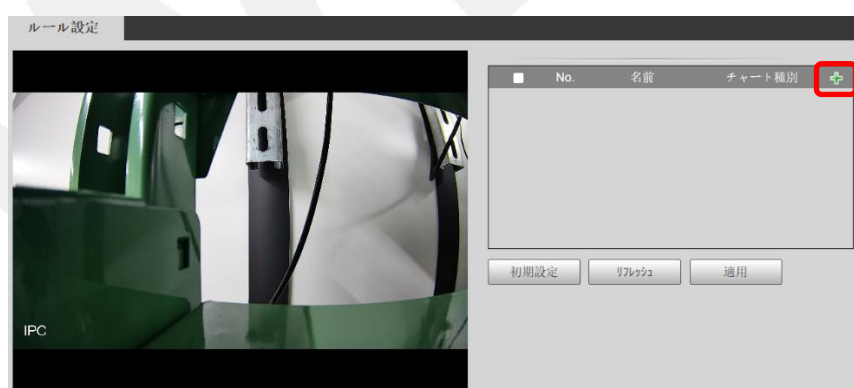
3.5. AI 境界検知

以下に、AI 境界検知機能のライン検知に絞り機能の手順を記載します。

- 1) 左にあるリストから「AI 境界検知」をクリックします。



- 2) ルール設定の画面が表示されるので、画面左上にあるをクリックします。



- 3) ルールが追加され、ルールの詳細設定画面が表示されます。



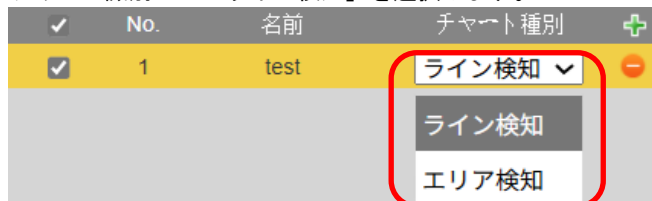
- 4) チェックボックスにチェックを入れ、ルールを有効にします。



- 5) 必要に応じて、名前の欄をダブルクリックしルール名を変更します。

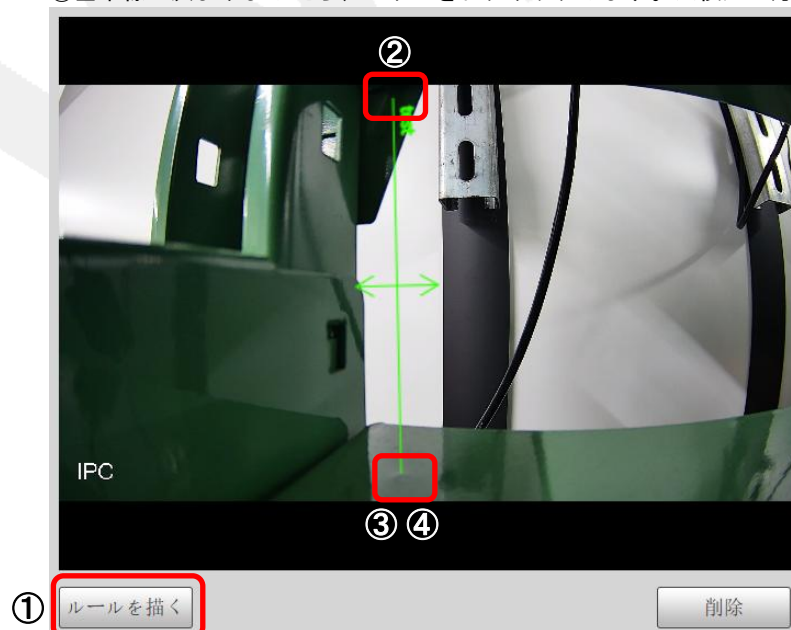


- 6) チャート識別にて「ライン検知」を選択します。



- 7) ルールを描画します。

- ①「ルールを描く」をクリックします。
- ②マウスをクリックすると、基準線の始点が設定されます。
- ③マウスを移動させると緑線が描画されるので、設定する位置でマウスを移動させて再度マウスをクリックします。
- ④基準線が決まりましたら、マウスを右クリックします。※検知の方向は「方向」のリストで変更して下さい。



- 8) イベントが発生した際のカメラの動作を設定します。

項目	内容
感度	AI 境界検知の感度を設定します。数値が高くなるほど感度は上がります
方向	ライン検知の動作する方向を設定します。
ビデオ	イベントが発生した際に映像を録画します。
電子メールを送信	イベントが発生した際に電子メールに設定された宛先にメールを送信します。
スナップショット	イベントが発生した際に静止画保存するチャンネルを設定します。

- 9) 設定が完了したら「適用」をクリックします。

※ルールを追加する場合は、2)の手順から行って下さい。

3.6. 異常処理

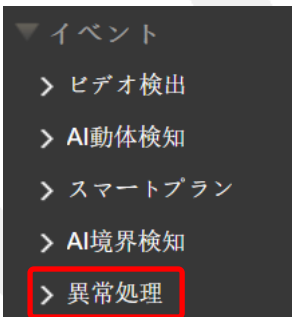
ここでは、SD カードの異常の設定について記載します。

3.6.1. SD カード異常

SD カードにおけるエラー発生時の設定を記載します。SD カードの検出できるエラーは以下の 3 つになります。

項目	内容
SD カードがありません	SD カードが認識できない場合に発生します。
SD カードの空き容量が少ない	SD カードの空き容量が設定した比率より少なくなった場合に発生します。
SD カードエラー	SD カードの読込/書込などが発生した場合に発生します。

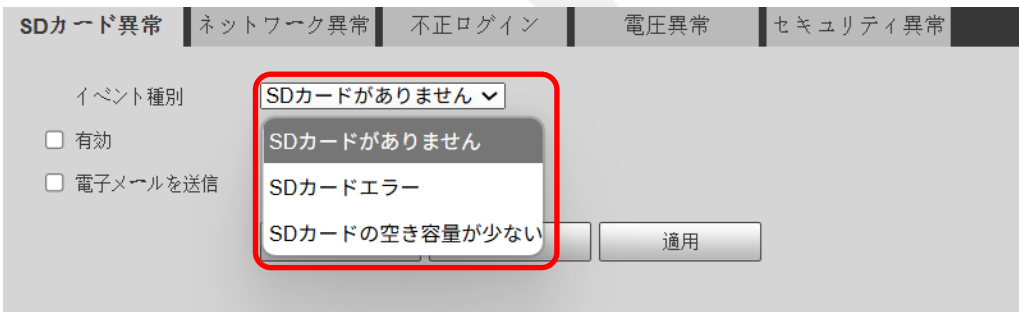
- 1) 左にあるリストから「異常処理」をクリックします。



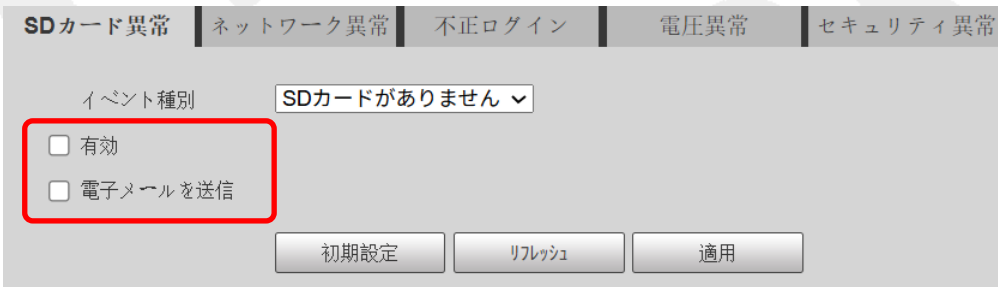
- 2) 上部の「SD カード異常」をクリックします。



- 3) 異常処理設定画面が表示されるので、SD カード異常の設定画面から、イベントを発生させるエラーを有効にします。
※以下、「SD カードがありません」のエラーの設定を記載します。

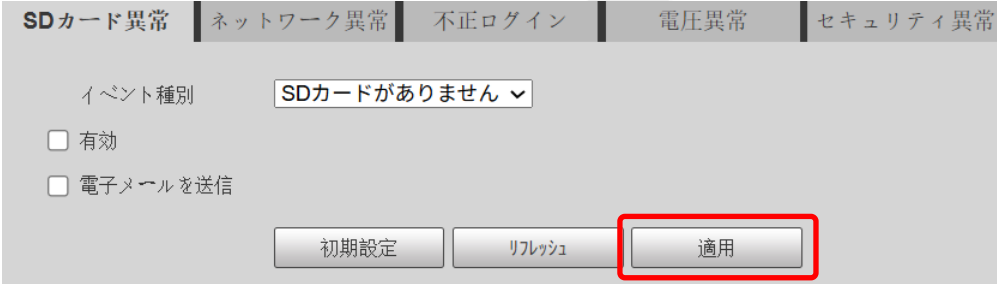


- 4) 項目を設定します。



項目	内容
有効	SD カード異常の検知を有効にします。
電子メールを送信	イベントが発生した際に電子メールに設定された宛先にメールを送信します。

- 5) 設定が終了したら、設定項目の下にある「適用」をクリックします。



SDカード異常 | ネットワーク異常 | 不正ログイン | 電圧異常 | セキュリティ異常

イベント種別 SDカードがありません ▼

☐ 有効

☐ 電子メールを送信

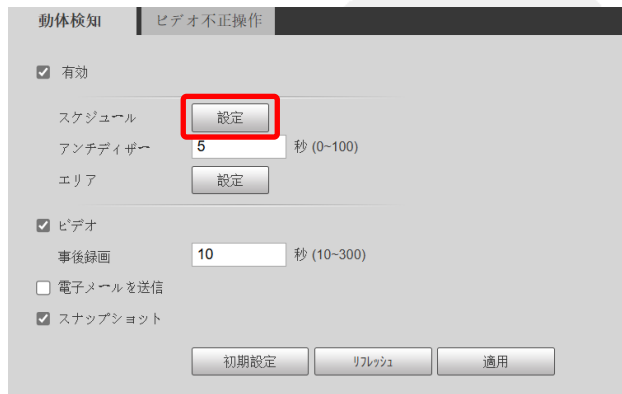
初期設定 リフレッシュ 適用

4. 備考

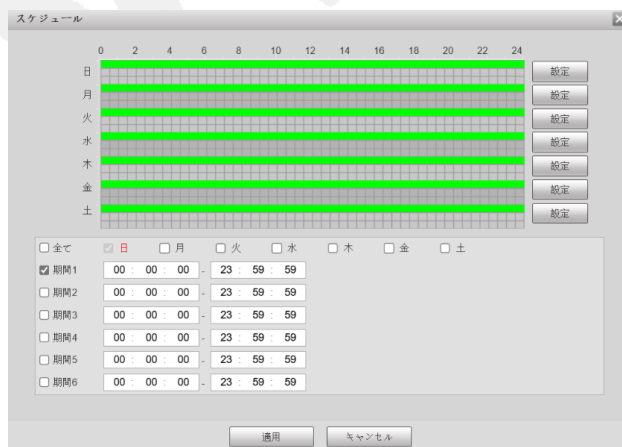
4.1. スケジュールの設定

アラーム入力や動体検知などのイベントにあるスケジュールの設定について記載します。
曜日ごとに最大6つの期間が設定できます。

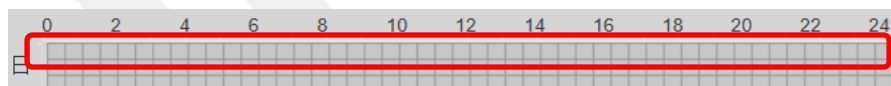
- 1) イベントの項目の「設定」をクリックします。



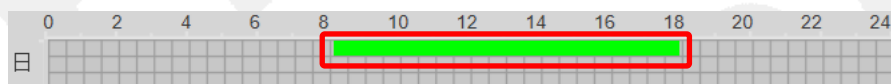
- 2) タイムテーブルが表示されます。



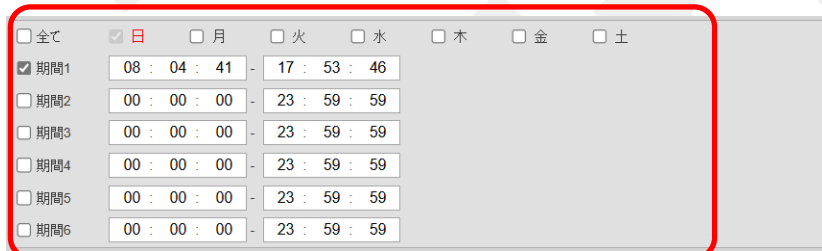
- 5) タイムバーをクリックするとバーが消えます。



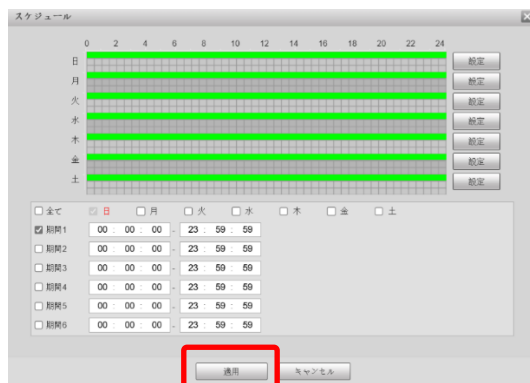
- 6) 開始/終了時間をクリックしながらドラッグし、時間を設定します。



※画面下部にて直接時間を入力することも可能です。



7) 設定が終了したら「適用」をクリックします。



以上